

修士生研究進捗計画表

時間	内容	形式とサイト	備考
修士二年第一学期始業から2週間以内	指導教授を決め、「指導教授調査表」を学科オフィスに提出	台湾大学日本語学科サイト https://japan.ntu.edu.tw/ch/admiscours?page=5	
修士二年	単位を取り終え、論文関連資料を収集する		
修士三年(9月末)	論文テーマを決定する		
修士三年(10月)	論文の構成を考える		
修士三年(11月末)	各章のアウトラインを作成する		
修士三年(12月)	論文を書き始める		
修士三年(1月末まで)	論文完成率50%		
修士三年(3月末まで)	論文完成率90%→提案審査を行う		提案審査の時間は口頭試問の3か月前まで!!(提案審査の時間が確定したら、学科オフィスの助教とその他委員に知らせること。提案審査は一部20ページ程度の論文各章節の要項を準備すること、また審査の1-2週間前に委員に送ること。)
修士三年(4月末まで)	論文初稿完成→学校に学位試験申請を提出する	(学位試験申請作業の流れに関するサイト)	学位審査申請の切の時間に注意すること!!

		http://gra103.aca.ntu.edu.tw/gra2007/gra/tienn/%E5%AD%B8%E4%BD%8D%E8%80%83%E8%A9%A6%E8%A1%A8%E5%86%8A/THESISPROFLOW.htm 申請書を研究科教務部に提出し、同時に卒業予定生成績審査表を提出する。 成績審査表は学科オフィスの周幹事より受け取る。	学校の年間行事予定を確認： https://www.aca.ntu.edu.tw/w/aca/calendar
修士三年(5月末まで)	論文完成	(台湾大学電子学位論文サービス論文形式テンプレート) https://etds.lib.ntu.edu.tw/E/TDS/Home/ShowDocNews (卒業生の電子版全文) http://www.airitilibrary.com/Search/alThesisbrowse (全文ダウンロードは台湾大学の中検院サイトまたはIPから)	◎論文形式 1・ <u>図書館の規定とテンプレート</u> 2・表紙の書式、レイアウト、論文の順序、要旨、ページ数、本文フォーマットなどその他詳細情報を確認すること 3・ <u>口頭審査書の配置と3か国語要旨の順番について</u> ： 表紙裏>口頭審査書>謝辞>日本語要旨>中国語要旨>英語要旨>目録>本文>参考文献と付録(要旨は：日中英または中英日、つまり中国語は必ず英語の前に記載しなければならず、日本語は規定なし。) 4・電子論文は口頭審査書を添付しなくてもよいが、紙本論文は必須である。

			<p>5・<u>図書館が詳細に提示していない字形について</u>： 謝辞と要旨には字形の制限はない(ただし英語要旨はNew times Romanでなければならない)、本文の中国語は新細名体、英語はNew times Romanなど図書館推奨の形式に、日本語はMS明朝に。</p> <p>6・<u>行間について</u>：行の高さ1.5倍、少し見にくいため、間隔の行グリット線を合わせると見やすくなり、審査に問題は生じない。</p>
修士三年(6月末まで)	口頭試験論文を完了		なるべく口頭試問の3-4週間前までに論文全文を審査委員に送ること。当日はお茶など委員に提供する簡単な物を準備し、安心して口頭試問を迎えること
修士三年(7月末まで)	論文修正、論文オリジナル性検査、受印	<p>1・周幹事にメールにて第一次論文オリジナル性検査を行うことを伝え、学校メールも伝えること。</p> <p>2・周幹事がNTU COOL上に「日本語学科-研究生論文オリジナル性検査科目」を追加するのを待って、速やかに追加許諾を行った後、作業欄から「口頭試問前第一次オリジナル性検査」に論</p>	<p>NTU COOL上で使用するシステムはTurnitinである。</p> <p>●報告内容に疑問がある場合はシステムQ & Aサイトの「報告内容に関する問題」を参照 https://www.igroup.com.tw/turnitin-feedback-studio/faq/</p> <p>● 学校提供の「Turniti学生版_オリジナル性報告説明」を参照</p>

		<p>文をアップロードする。 3・オリジナル性検査の結果が出るのを待って、学科規定基準の24%以内ならば口頭試験に進むことができる。宛庭助教にメールにて、口頭試問の日時、タイトル、審査委員、論文、対比結果の比率を伝えること。(オリジナル性検査基準に関しては国立台湾大学日本語学科修士学位取得方法を参照： https://japan.ntu.edu.tw/ch/admiscours?page=5)</p>	<p>https://drive.google.com/open?id=1Xya5V4fHCzH3pxjqJHYJnQfxJDsP1v1K</p> <p>◎この時期は論文の受印希望者が殺到するため、前もって準備しておくこと。(おおよそ4-5営業日程かかる)</p> <p>◎送印</p> <p>1・口頭審査書を印刷店にてスキャンし、電子ファイルに挿入する。また、紙本印刷のフォーマットを調整してもらうこと(たとえば、ページ裏、謝辞、要旨は片面印刷)。</p> <p>2・図書館に二部(精装or平装)、学科オフィスに一部(精装)、審査委員に各一部を送付すること。</p>
<p>修士三年(8月中旬まで)</p>	<p>卒業手続き完了</p>	<p>(Acrobat6.0) https://get.adobe.com/tw/reader/(オフィシャルサイトDC版試用30日)</p> <p>(浮水印) http://www.lib.ntu.edu.tw/doc/CL/watermark.pdf</p> <p>(浮水印と暗号化について：下記のリンクを参照「台湾大学学位</p>	<p>卒業手続きの期限に注意すること!!</p> <p>※図書館の審査を通ったら、先にmyNTUの「卒業生卒業手続き検索」から未完成の手続きを確認すること。</p> <p>流れ：</p> <p>一、電子論文アップロード 電子論文のアップロードに関する注意事項</p> <p>1.Acrobatの取得</p>

		<p>論文アップロード手引き」第5-10ページ) http://etds.lib.ntu.edu.tw/files/graduate.pdf</p> <p>(電子ファイルアップロードの流れについて：下記のリンクを参照「台湾大学学位論文アップロード手引き」第11-21ページ) http://etds.lib.ntu.edu.tw/files/graduate.pdf</p> <p>電子学位論文サービスシステム (ログインし、流れに従って進める) https://etds.lib.ntu.edu.tw/ETDS/ETDSAdmin/SubmitLogin/ntu</p> <p>卒業および論文提出について： http://www.lib.ntu.edu.tw/nod/e/103</p> <p>卒業生の卒業手続きに関する検索システム： https://my.ntu.edu.tw/StudLeave/Login.aspx (開けない場合は、自身のmyNTUから直接「卒業生卒業手続き検索」で探すこと)</p>	<p>2.wordからPDFに 3.Acrobatの浮水印と暗号化を使用 4.電子ファイルをアップロード 5.審査待ち 電子論文審査はおおよそ二日かかる。論文の基本資料欄の目次と参考文献を付録出来ない場合は、システムの問題なので、連絡しwordファイルを閲覧部に送付すること *審査とその後の紙本印刷は時間がかかるため、図書館論文提出の期限に注意すること！*</p> <p>二、紙本論文提出</p> <p>1.一冊の精装、一冊の平装版を提出 2.図書館送付の電子論文委任状にサイン(まだ委任がない場合は受け取れない) 3.まず卒業生卒業手続きシステムにログインし、図書館に申請図書処理作業を行い(先に書籍の全返却が必須)、紙本の委任状を提出 4.紙本論文とアップロードされた電子論文の形式が一致していることを図書館が確認したのち、論文提出が完了する 5.必ず全ての書籍を返却すること</p>
--	--	--	--

			<p>三、学科オフィス</p> <p>1.一冊の精装論文+研究パスポート(サインと公開発表を確認すること)</p> <p>2.鍵二つ(研究室+個人ロッカー)+未返却学科図書+不足のアルバイト時数+学科卒業生アンケート+オリジナル性証明書</p> <p>四、研教部</p> <p>学生証+100元→卒業証書</p> <p>五、卒業手続き</p> <p>1.卒業生は卒業手続きシステムにて校務システム卒業生アンケート、退寮、卒業服の返却の完了有無を確認すること</p> <p>2.学科卒業手続きの必須項目：精装論文一冊、研究室とロッカーの鍵(300元の保証金を返金)、ロッカーの整理、学科図書の返却、研究生補助金の清算、卒業生アンケートの記入(学科アンケート)、研究パスポート</p> <p>3.行政棟研教部にて卒業証書を受け取る</p>
--	--	--	---

from (R98全体、R00 吳勤文、R08 詹育萱、R10李禹錫)

20231107 update

●修士生からの内容訂正を随時受付中。修正したい場合は学科オフィスに連絡すること。